

雪を逃さない園庭と雪を喜ぶ子どもの元気は最強タッグ！！



今朝（1月30日）のことでした。「園長先生、雪遊びがしたいです。自分勝手なことはしないから、園長先生は見てくれる先生の役をしてくれませんか。一緒に外へ出てください。」ふつうならば、子どもが全員そろってから、部屋ごとのタイミングで外遊びが始まるのですが、まだ園には半分の子どもがいません。この言葉は、私の気持ちのど真ん中をとらえました。「よっしゃ！一緒に外に出よう！みんなにも声をかけてこいよ。」園に来た子から次々に雪あそびを堪能しました。地面が見え隠れする程度の雪でも、広い芝の園庭と雪を喜ぶ子どもと先生たちの元気は最強です。



2/6（金） 幼児防火教室（命を守る訓練）



園では月に1回（年12回）命を守る訓練を位置付けています。うち1回は、美濃消防署から来て、年中・年長さん対象に、煙の中の避難体験を含めた内容で教室を実施してもらっています。

消防署のお兄さんから「自分の袖に火が飛び移ったらどうしたらいいか分かりますか？」「火事になったとき、どんなことを守って逃げるか分かりますか？」等、問いかけられた子どもたちは、「待ってました！」とばかりの勢いで答えていました。お兄さんも感心していましたが、昨年の教室や園で繰り返す訓練の成果を感じ取ることができました。

